

令和4年度 未来創造科 全体計画（案）

島根大学教育学部附属学園

<p>子どもの実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知性に優れており、多角的な見方や考え方ができる。 ・一人一人が個性を伸ばし、互いにそれを認めようとする雰囲気である。 ・連帯感や協調性、自尊感情の育成に課題がある。
<p>地域や学校の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼・前期課程・後期課程一貫校 ・広い校区・多様な地域の出身者 ・ほぼ全員が普通高校進学を希望する。 ・保護者の教育への関心が高く、教育活動に協力的である。 ・住宅地や商業地に隣接した市街地内にある。

<p>学校教育目標</p> <p>【伸びる】豊かな感性を育み、創造的に探究し続ける子どもの育成 夢を膨らませ、自分の可能性を見いだしながらすこやかに伸びる子ども</p> <p>【つながる】人とのかかわりを大切にし、共に伸びてゆく子どもの育成 友達と考えを高め合う楽しさを感じ、手を取り合って考える子ども</p> <p>【創る】新しい時代を切り拓き、社会に貢献しようとする子どもの育成 課題を見だし、しなやかな発想をもって解決しようとする子ども</p>

<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや感謝の心をもった子ども ・礼儀正しい子ども ・自分に責任をもち、忍耐強く、よく努力する子ども
<p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で自己を表現でき、主体的、自立的に生きることができる子ども ・感謝や勤労・奉仕の気持ちをもち。豊かな社会生活を創造する子ども ・豊かな心と寛容の心をもち、謙虚に学ぶ子ども ・自己有用感を高め、開かれた個として、他と関わるができる子ども。

<p>未来創造科の目標</p> <p>探究的な見方・考え方を働かせ、地域や社会が直面する課題に取り組む未来創造科の学習を通して、創造的な問題解決や未来志向的な構想・提案に携わることで、自己の生き方や社会のあり方を考えることができるようになるために、以下の資質・能力を育成する。</p>
--

<p>知識及び技能</p> <p>地域や社会が直面する課題をテーマとした探究的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、課題が生じる背景を捉えることができる。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>地域や社会が直面する課題の解決に向けて問いを立て、その解決に向け、試行錯誤し、探究の成果を地域や社会に対して発信・表現することができる。</p>	<p>学びに向かう力・人間性等</p> <p>地域や社会が直面する課題をテーマとした探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを認めたり活かしたりしながら、地域や社会の未来を担うための行動を創造的に考え実践できる。</p>
--	---	---

【全体テーマ】 住みたいまちプロジェクト ～ふるさとの明日を創ろう～

学年	時間数	探究課題	内容	環境とエネルギー	福祉・医療・保健	人間とコミュニティー	まちの安全・安心	産業と観光
9年生	70時間	他とともに社会に参画する	・地域社会での社会参画を軸にした発信型の体験活動 ・沖縄平和学習	○	○	○	○	○
8年生	70時間	社会に関わる	・職場体験活動での選択型の体験活動 ・沖縄平和学習	○	○	○	○	○
7年生	50時間	社会を知る	・ <u>公民館</u> での追求型の体験活動		○			
6年生	90時間 (70時間)	世界とつながる松江市	・平和学習を進め、松江市と諸外国とのつながりを調べ、未来を考える活動	○	○	○	○	○
5年生	90時間 (70時間)	松江の魅力・再発見	・観光の視点から松江の魅力を知るための調査を中心とした体験活動					○
4年生	90時間 (70時間)	身の回り（松江市）の福祉	・福祉の視点から域にある各施設やそこで働く人々の思いなどを調査する活動		○			
3年生	90時間 (70時間)	松江の（人）発見	・松江市の名所や学校周辺の施設で活躍する人々へのインタビュー等を中心に、中心に行き、松江のよいところを調査する活動					○
2年生	102時間	つながる私たちの暮らし	・自らの成長を感じながら、1年生時からさらに広く「ひと・もの・こと」と出会い・知り、それらとのつながりを見つける体験活動			○		
1年生	102時間	広がる私たちの暮らし	・学校生活との出会いを通し、身の回りの「ひと・もの・こと」に触れ、子どもが暮らしを広げる体験活動			○		
幼稚園 2年次		集団生活を通して、自己発揮する	・自分の興味関心をもった「ひと・もの・こと」に対し、友達と協同（共同）して調べたり、追求したりして遊び込む（遊びに取り組む）。					
幼稚園 1年次		家庭から、はじめての集団へ	・園生活の中で自分の居場所をつくりながら、様々な「ひと・もの・こと」との出会い、安心して見つけた遊びに取り組む。					

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の実態を踏まえ、探究的な見方・考え方を羽田赤瀬、地域や社会が直面する課題を設定する。 ・自己の生き方のみならず、社会のあり方を考えることとする。 ・創造的な問題解決や未来志向的な構想・提案に携わる。 ・地域域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場を設定する。

<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が自ら各教科等における見方・考え方を総合的に活用できる学習活動を展開する。 ・広範な事象を多様な角度から問う（様々な発想やアイデアを引き出す）場面を設定する。 ・自己の生き方や社会のあり方をを問う場面を設定する。 ・解決に向け素行錯誤する場面を設定する。
--

<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11年間の活動や育成を目指す資質・能力などを系統化を行う（未来WG）。 ・未来創造科と書く教科・領域との関連づけの仕組づくり（未来WG） ・研修体制を確立する（研究部）。 ・カリキュラムの計画・実施・点検。 ・T T, 異年齢集団による学習など、多様な支援体制を工夫する。 ・島根大学との連携体制の確立。 ・地域人材を活用した支援体制の工夫。
--

<p>【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

<p>各教科等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びの素地を養う（全教科） ・知識及び技能の確実な習得と活用（全教科） ・資料活用の方法を生かした情報収集（社会科） ・科学的な分析から多様な視点での情報整理（理科） ・地域の暮らし、住まい等への取り組み（技術家庭科） ・福祉、健康の視点からの解決への取組（保健・体育科） ・豊かな感性を生かした表現の方法の工夫（音楽・図工美術） ・多様性への対応・受容、コミュニケーション（外国語・英語） 	<p>道徳教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の時間を要として、思いやる心を育む ・指導の重点項目「真理の探究、創造」「思いやり、感謝」「社会参画、公共の精神」「相互理解、寛容」 	<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。 ・合意形成や意思決定できるようにする。 ・役割を分担して協力して実践する。
---	---	---

【他の小中学校、進学校との連携】

<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果を地域と共有すると共に全国へ発信（未来創造科の成果の公表） ・研究成果の地域の公立校等での活用度や課題の調査 ・高等学校の「総合的な探究の時間」への接続・発展
--

【探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力】別紙参照 ※これをR2年度完成を目指す。